



漱石とくまもと

〈4〉漱石松山へ

明治28年(1895)4月、漱石は愛媛県尋常中学校(のちの松山中学校)の英語教師として赴任しました。帝国大学の先輩である菅虎雄の紹介でした。菅は漱石より3歳年上でしたが、漱石が生涯心を許した友人の1人です。

外国人教師カメロン・ジョンソンの後任として、優秀な日本人教師を探していた愛媛県参事官であった浅田知定が、同郷(久留米)の菅に人選を依頼したのです。月給は校長より20円高い80円でしたが、これは特別待遇というわけではありません。当時、教頭の横地石太郎も80円で、同じ帝国大学卒業でした。給料は学歴によって決められていたのです。

生徒は、外国人教師と同じような発音をする漱石に驚きました。新任の先生を冷やかそうと下宿に押しかけた生徒たちは、1時間もしないうちに漱石の学識の深さにすっかり感心して、おとなしく帰って行ったそうです。教師をあだ名で呼ぶなど、生意気な生徒たちでしたが、漱石の丁寧でわかりやすい授業に敬服してしまいました。

8月には新聞記者として日清戦争に従軍し、結核を悪化させた正岡子規が、療養のため故郷の松山に帰省し、漱石の下宿に転がり込みます。子規は近代俳句の基礎を築いた人です。漱石と同一年で、東京大学予備門時代の明治22年頃から親しくつきあうようになりました。その交友は深く、子規が亡くなる明治35年まで多くの書簡*が取り交わされました。子規は明治25年帝国大学を中退して日本新聞社に入社。新聞「日本」紙上で「俳句革新運動」を展開していました。



▲大学時代の正岡子規



▲松山で漱石が住んでいた下宿 愚陀仏庵

※「漱石写真帖」より

漱石は、下宿の1階を子規に使わせ、漱石自身は2階を使用しました。連日のように開催される句会に次第に引き込まれ、熱心に俳句を作るようになります。子規の滞在は52日間に及びました。10月19日子規は松山を離れます。子規の帰京後は、作った俳句を送り、添削を求めました。その句稿は『漱石全集』に収録されていますが、翌年3月まで572句を送っています。

しかし、漱石は松山での生活に次第に不満を抱くようになります。11月6日には正岡子規に宛てて「貴君の生れ故郷ながら余り人気(その地方一帯の人々が持つ気風)のよき処では御座なく候」と述べ「愛媛県には愛想が尽き」、すぐにでもほかの就職口があれば移りたいと書き送っています。熊本の第五高等学校に赴任していた菅にもさかんに不満を訴え始めたのです。10月、生徒の校長排斥ストライキによって校長が辞任しますが、こうした生徒の行動に不快感を抱いたためとも言われています。

※手紙、書状

(くまもと漱石倶楽部会員・九州ルーテル学院大学非常勤講師 村田 由美)

※左上のイラストは夏目漱石記念年イメージキャラクターです。

くまもと俳句ポスト入賞作品紹介

(文化振興課 ☎096-328-2039)

入選 団栗の ひとつ入りたる 産湯の井

(2月末開函分)

(熊本市 坂口 美穂子さん)

いうまでもなく漱石旧居の産湯の井戸ですが、絵になる構図を写生しています。団栗に秘められたひとつのいのちが、この井戸の水を産湯に使った長女の筆子のいのちを思わせます。しんと静かな、味わいのある一句です。

To熊カードの販売・利用を終了します

交通系ICカード(でんでん二モカおよび熊本地域振興ICカード「くまモンのICカード」)の導入に伴い、To熊カードの販売・利用を終了します。

販売終了日/8月31日 利用終了日/来年3月31日

■払い戻し対応期間など

来年4月1日から5年間は、手数料なしで所定の計算方法に基づき払い戻す予定です。来年3月31日までは払戻手数料が必要です。



■来年4月以降の払い戻しの例

例) 1,100円のTo熊カード(内、1,000円は購入金額、100円は割り増し額)の残金が800円の場合(払い戻しまでに300円利用していた場合)

払い戻し金額 = To熊カードの残金 - 割り増し額 = 800円 - 100円 = 700円

■払い戻し手続き窓口

- To熊カードを発行した事業者の窓口(To熊カードは、市交通局、産交バス、熊本電鉄、熊本バスの4社がそれぞれ発行しています)。
- 交通センター内産交バスサービスセンター(市交通局発行分を除く。こちらでの熊本電鉄発行分の払い戻し対応は来年3月31日まで)。

※To熊カードを発行した事業者および電話番号は、To熊カードの裏面で確認できます。詳しくは、各To熊カード発行事業者へ。

(交通政策総室 ☎096-328-2510)

熊本地域振興ICカードが市電でも利用できるようになります

現在、県内の路線バスなどで利用できる熊本地域振興ICカード「くまモンのICカード」が8月7日から、市電でも利用できるようになります。車内でのチャージも可能です。

詳しくは、電車課(☎096-361-5241)へ。

おでかけ乗車券の取扱いについて

現行磁気カードの「おでかけ乗車券」は来年3月にICカードに移行するため、来年2月末頃までの販売を予定しています。※ICカードの交付の方法などは、詳細が決まり次第改めてお知らせします。



(健康福祉政策課 ☎096-328-2340)

熊本市コールセンター

休日在宅当番医、イベント情報、区の窓口業務など、いつでもお尋ねください

午前8時～午後9時(年中無休)

ひごまるコール ☎096-334-1500

FAX 096-370-2002 電子メールアドレス 1500@higomaru-call.jp

ホームページ ひごまるコール

検索

配布に関するお問い合わせ

市政だより配布センター

0120-887-778

午前8時～午後8時
(土曜・日曜日、祝日は除く)

今月のイチオシ



夏休みのお出掛けの参考に、毎週水曜午前10時半頃からTKUの情報番組内のコーナー「市つとるね!? マナブくん」は見てよかばーい。

再生紙を使用しています